



株式
会社 **中山製鋼所**

証券コード 5408

第**120**期
(平成25年度)

中間報告書

平成**25**年**4**月**1**日から平成**25**年**9**月**30**日まで

CONTENTS

株主の皆様へ	P. 1
連結業績の推移	P. 3
連結財務諸表の概要	P. 4
トピックス	P. 5
会社の概要	P. 6

株主の皆様へ

平素は、格別のご厚情を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、当社の平成25年度上半期（平成25年4月1日～平成25年9月30日）が終了いたしましたので、事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成25年12月



代表取締役社長 森田 俊一

事業の概況

当上半期におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果や円安の継続を背景に、緩やかに回復してまいりました。

鉄鋼業界におきましては、建築・土木需要をはじめ産業機械、自動車向けで増加しており、円高是正による輸出も堅調に推移するものと見込まれるものの、中国の供給過剰によるアジア地域での鉄鋼需給の緩和、電力をはじめとする様々なコストアップ懸念など、依然として不透明要因が多く、厳しい環境が続いております。

このような厳しい経営環境のもと、当社グループにおきましては、平成25年3月28日に発表しました事業再生計画に沿って、次のとおり財務にかかる施策を実行してまいりました。

平成25年7月9日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、連結子会社である中山三星建材株式会社、中山通商株式会社、三星商事株式会社、三星海運株式会社および三泉シャワー株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。これに伴い、負のの

れん発生益70億31百万円を特別利益に計上し、資本剰余金が46億53百万円増加いたしました。

平成25年6月20日付の「債務免除等の金融支援に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社地域経済活性化支援機構および当社に対して金融債権を有する関係金融機関等より債務免除等の金融支援に関する同意をいただいたことにより、平成25年8月27日付で関係金融機関等より602億9百万円の債務免除を受け、同額の債務免除益を特別利益に計上いたしました。

また、当社は、平成25年8月27日に新日鐵住金株式会社、阪和興業株式会社、日鐵商事株式會社（現 日鐵住金物産株式会社）、エア・ウォーター株式会社、大阪瓦斯株式会社、および大和PIパートナーズ株式会社を引受先とする第三者割当増資を実行いたしました。これにより、当社は3億4,663万6千株の新株式を発行するとともに、90億12百万円の払い込みを受け、資本金、資本剰余金ともにそれぞれ45億6百万円増加いたしました。

これらの施策の実行により、当社グループの財務状況は大幅に改善し、第1四半期連結会計期間末における債務超過および継続企業の前提に重要な疑義を生じさせようような事象または状況は、解消いたしました。

〔鉄鋼事業〕

鉄鋼事業につきましては、主原料価格や電力料金などのユーティリティコストが上昇する中で、不採算製品の販売の絞り込みなどにより鋼材販売数量は減少しましたが、鋼材販売価格の改善を図るとともに、一層のコスト削減を推し進めた結果、売上高は612億22百万円（前年同期比32億87百万円減収）、経常利益は9億84百万円（前年同期比51億3百万円の増益）となりました。

〔エンジニアリング事業・不動産事業他〕

エンジニアリング事業につきましては、建設事業の撤退により受注量が減少したものの、固定費の削減を進めたことなどで、売上高は7億73百万円（前年同期比4億3百万円減収）、経常利益は59百万円（前年同期比26百万円の増益）となりました。

不動産事業につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保したことに加え、遊休地の賃貸活用を促進したことにより、売上高は3億26百万円（前年同期比60百万円増収）、経常利益は1億67百万円（前年同期比39百万円の増益）となりました。

なお、化学事業につきましては、平成25年2月28日に当社グループが保有する南海化学株式会社の全株式を南海グローバルケミ株式会社に譲渡いたしましたので、前第4四半期連結会計期間に南海化学株式会社および富士アミドケミカル株式会社を連結の範囲から除外したことにより、当第2四半期連結累計期間の実績はありません。

以上の結果、当上半期の連結業績につきましては、売上高623億22百万円（前年同期比114億61百万円減収）、営業利益15億6百万円（前年同期比48億3

百万円の増益）、経常利益8億95百万円（前年同期比50億78百万円の増益）、四半期純利益650億96百万円（前年同期比697億58百万円の増益）となり、第2四半期連結累計期間においては、営業利益、経常利益は3年ぶりに、四半期純利益は5年ぶりに黒字化を達成いたしました。

当期の中間配当につきましては、財務状況が改善されたものの安定した黒字が見込まれるまで、誠に遺憾でございますが、前期の期末配当に引き続き、無配とさせていただきます。

今後の見通し

今後のわが国経済の見通しにつきましては、設備投資および個人消費の回復を背景に、引き続き緩やかに回復するものと予想されます。

鉄鋼業界におきましては、震災復興需要が本格化するものの、アジア地域での需給緩和をはじめ、電力料金の動向などの懸念材料もあり、先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業再生計画に沿って、鉄源の多様化による安価な輸入主原料の購入の増加や、徹底したコスト削減への取り組みによって収益確保に努めるとともに、中高級鋼の拡販を推し進め、顧客の皆様のご理解を得ながら鋼材販売価格の改善に取り組んでまいります。また、新日鐵住金グループ殿とのアライアンスの強化や、当社グループの全国拠点を最大限に活用し、お客様に密着した品質・納期面でのきめ細かな対応を図り、顧客満足度の向上を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、以上の諸事情をご賢察のうえ、今後とも何卒ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績の推移

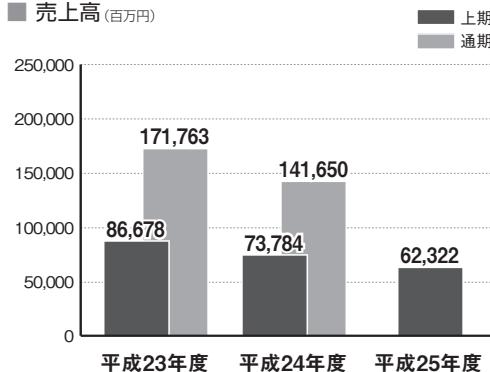
(平成25年9月30日現在)

財産および損益の状況

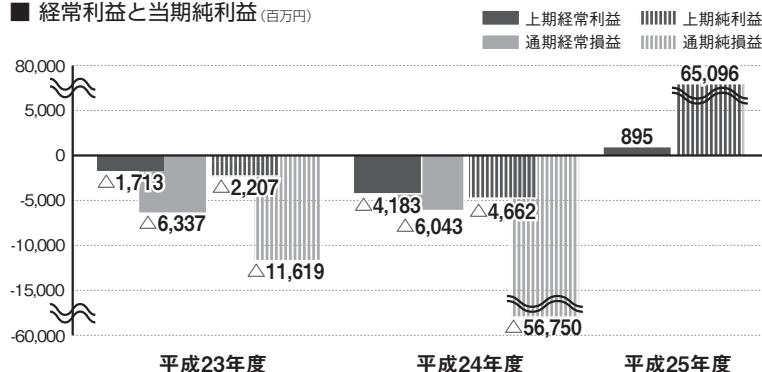
区分	年度・期	平成23年度		平成24年度		平成25年度
		上期	通期	上期	通期	上期
売上高	(百万円)	86,678	171,763	73,784	141,650	62,322
経常利益	(百万円)	△1,713	△6,337	△4,183	△6,043	895
当期(中間)純利益	(百万円)	△2,207	△11,619	△4,662	△56,750	65,096
1株当たり当期(中間)純利益	(円)	△17.15	△90.27	△36.22	△440.92	234.75
総資産	(百万円)	206,251	204,786	195,006	109,736	117,076
純資産	(百万円)	56,791	49,672	43,514	△15,863	51,913
有利子負債	(百万円)	91,818	102,378	101,676	95,567	34,918

(注) △は損失を示しております。

売上高(百万円)

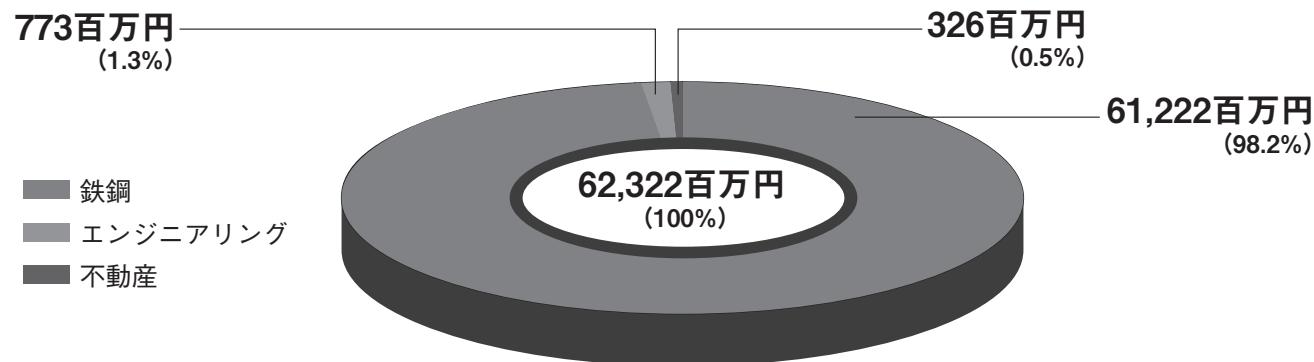


経常利益と当期純利益(百万円)



セグメント別連結売上高

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)



連結財務諸表の概要

連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	76,652	流動負債	21,634
現金及び預金	29,169	支払手形及び買掛金	14,824
受取手形及び売掛金	27,875	短期借入金	3,582
商品及び製品	10,630	未払金	1,114
仕掛品	2,262	未払費用	1,178
原材料及び貯蔵品	5,888	未払法人税等	144
繰延税金資産	87	繰延税金負債	14
その他	857	賞与引当金	379
貸倒引当金	△119	その他	397
固定資産	40,424	固定負債	43,528
有形固定資産	34,908	長期借入金	31,336
建物及び構築物(純額)	4,355	繰延税金負債	5,805
機械及び装置(純額)	5,228	再評価に係る繰延税金負債	1,518
土地	24,763	退職給付引当金	1,990
その他(純額)	560	役員退職慰労引当金	3
無形固定資産	208	環境対策引当金	153
投資その他の資産	5,307	負ののれん	1,394
投資有価証券	3,382	その他	1,327
繰延税金資産	1	負債合計	65,163
その他	2,003	(純資産の部)	
貸倒引当金	△79	株主資本	47,143
資産合計	117,076	資本金	20,044
		資本剰余金	19,498
		利益剰余金	8,371
		自己株式	△770
		その他の包括利益累計額	4,770
		その他有価証券評価差額金	1,033
		土地再評価差額金	3,736
		純資産合計	51,913
		負債純資産合計	117,076

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△787
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,372
現金及び現金同等物の増加額	7,123
現金及び現金同等物の期首残高	22,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,169

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	62,322
売上原価	55,801
売上総利益	6,520
販売費及び一般管理費	5,014
販売税費	2,453
一般管理費	2,560
営業利益	1,506
営業外収益	440
受取利息	14
受取配当金	34
貸倒引当金戻入額	123
負ののれん償却額	92
その他	175
営業外費用	1,051
支払利息	605
持分法による投資損失	15
その他	430
経常利益	895
特別利益	67,353
債務免除益	60,209
負ののれん発生益	7,031
固定資産売却益	99
特別修繕引当金戻入額	13
特別損失	67
特別退職金	67
税金等調整前四半期純利益	68,181
法人税、住民税及び事業税	371
法人税等調整額	2,678
少数株主損益調整前四半期純利益	65,131
少数株主利益	34
四半期純利益	65,096

財務基盤の強化

本年8月27日、スポンサー6社（新日鐵住金㈱、阪和興業㈱、日鐵商事㈱、エア・ウォーター㈱、大阪瓦斯㈱、大和PIパートナーズ㈱）を引受先とする第三者割当増資をいたしました。これにより、3億4,663万6千株の新株式を発行し、約90億円の払い込みを受け、平成25年3月末日に対し、発行済み株式数が約4.8倍、時価総額は約7.6倍に増加いたしました。

	発行済株式総数	時価総額	資本金
平成25年3月末日	131,383,661株	9,065,472,609円	15,538,509,066円
連結子会社との株式交換後 (平成25年7月9日)	284,156,561株	19,322,646,148円	15,538,509,066円
平成25年9月末日	630,792,561株	68,756,389,149円	20,044,777,066円

(注) 1. 日鐵商事㈱は、平成25年10月1日付で住金物産㈱と合併し、日鐵住金物産㈱に商号変更しております。

2. 時価総額は当日の株価（終値）で算出しております。

一般社団法人 日本鉄鋼連盟主催 第75回自主管理活動発表大会「感動賞」8年連続受賞

本年9月、一般社団法人日本鉄鋼連盟が主催する第75回自主管理活動発表大会が神戸市で開催されました。

全国の鉄鋼各社から47件の事例発表が行われ、当社からは1件を発表し、「感動賞」を受賞いたしました。

当社は、平成18年第68回の大会以来、8年間連続で感動賞を受賞しております。

今後も自主管理活動を通じ、現場力の更なる向上を目指してまいります。



CSR（企業の社会的責任）への取り組み

地元公道の清掃活動

当社では、良き企業市民としての責任を果たすために、平成4年から社屋前の公道をはじめ、地元の大正通りの清掃ボランティアを定期的実施しております。本年3月には、長年にわたる当社の美化推進が認められ、大阪市より感謝状が贈呈されました。

今後もより一層、環境保全の継続的改善に積極的に取り組み、社会貢献に努めてまいります。



会社の概要

(平成25年9月30日現在)

主要な事業内容

事業	主要品目		
鉄鋼事業	鋼材	鋼板	熱延鋼帯、厚板、中板、縞板、鍍金鋼帯
		条鋼	線材、バーインコイル、棒鋼、軽量C形鋼、パイプ、線材二次製品、高力ボルト
	鋼片、副産物等		
エンジニアリング事業	海洋（鋼製魚礁・増殖礁）、ロール、バルブ、産業機械		
不動産事業	不動産の賃貸・売買		

■会社設立 大正12年(1923年)12月22日

■資本金 20,044,777,066円

従業員の状況

連結 1,112名

(当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む)

単独 461名

(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む)

主な事業所

[本社・船町工場]

〒551-8551 大阪市大正区船町一丁目1番66号

電話/06-6555-3111(総合案内) FAX/06-6555-3170

[東京営業所]

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目15番5号

PMO日本橋二丁目9階

電話/03-5204-3070 FAX/03-3516-7500

■会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

連結子会社 (6社)

中山三星建材株式会社、中山通商株式会社、三星商事株式会社
三星海運株式会社、中山興産株式会社、三泉シヤー株式会社

持分法適用会社 (1社)

日鉄住金ボルテン株式会社

役員

代表取締役社長

専務取締役

常務取締役

監査役(常勤)

監査役

監査役

森田俊一

箱守一昭

中村佐知大

守屋隆男

福西惟次

川野辺弘文

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告 http://www.nakayama-steel.co.jp/ ただし、電子公告によることができない 事故その他のやむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に掲載して行う。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ 単元未満株式(1~999株)の買取・買増制度のご案内

当社では、市場でお取引できない単元未満株式(1~999株)の買取制度および買増制度を採用しております。手数料は無料ですので、ぜひご活用ください。

※買取制度：ご所有の単元未満株式(1~999株)を当社が市場価格で買い取らせていただく制度です。

買増制度：単元未満株式をご所有の場合に、あわせて1,000株にするのに必要な株式を当社から市場価格で買い増しすることができる制度です。

特別口座で株式をご所有の株主様へ

2009年1月5日から実施された株券の電子化に際して、株式会社証券保管振替機構(株券を証券会社を通じて「ほふり」に預託)をご利用されなかった当社株式につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に開設された「特別口座」にその内容が記録されました。

特別口座においては、単元未満株式の買取および買増をご利用の場合を除き、株式を売買することができませんので、特別口座で株式をご所有の株主様におかれましては、ご所有の当社株式を証券会社のお取引口座へお振替えされることをおすすめいたします。

【お問い合わせ先】

<証券会社等の口座に株式をご所有の株主様>

口座を開設されている証券会社等

<特別口座で株式をご所有の株主様>

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部



**NAKAYAMA
STEEL WORKS, LTD.**

<http://www.nakayama-steel.co.jp/>



この冊子は環境に配慮した植物油インキを使用しています。